

●学内選考(大学で取りまとめの上、募集元へ申請します。希望者は大学まで申請してください)

| | 財団名称 | 募集対象 | 応募方法 | 募集人数 | 貸与または給付 | 金額 | 応募用紙入手・リンク先 | 学内提出期限 | 提出方法 | 学内指定提出書類 | 注意点 |
|---|--------------------------------|--|------|-----------------|---------|---|---|---|-----------|----------|--|
| 5 | 吉田育英会<マスター21> | <p>・日本国籍を有する方。 ・2026年4月1日現在において、27歳未満である方。 ・2026年4月1日現在において、当会の指定する大学(推薦依頼校)の学部4年次に在学中の方。 ・2026年秋季または2027年春季に大学院修士課程(標準修業年限が2年で、修了者に修士の学位が授与される課程。博士前期課程を含む。)、または一貫制博士課程に入学を希望する方。 ・進学先において日本の大学院の学籍を有し、自然科学系分野を専攻する方。</p> <p>なお、以下の点にご留意ください。 ・進学先大学院は在学中の大学と異なっても構いません。また、国公立、私立の別を問いません。 ・家計基準(世帯の家計支持者ならびに本人及び配偶者の収入による応募制限等)はありません。 ・他団体奨学金との併給の可否については募集要項の3ページをご覧ください。 ※Only for the Japanese students.</p> | 学内選考 | 全国15名程度(学内推薦1名) | 給付 | <p>(1) 次のア又はイに掲げる額のいずれか(希望する内容を採用時に選択することができます) ア 奨学期間を通じて月額8万円イ 学校納付金として、奨学期間内に合計250万円以内の実費 学校納付金には、入学金、授業料、施設費、実験研究費等の名目で大学に対して半期または1年毎に納付する費用を含みます。 (2) 海外での研究活動支援のための奨学金として、奨学期間内に合計50万円以内の実費 海外研究活動支援は、奨学生が将来国際舞台で活躍することを期待して、在学中の海外での研究活動を支援するために設けられた項目です。支援の対象は、海外で開催される国際学会への参加、海外の大学への短期留学、海外で実施される研修への参加、及びその他当会が認める活動で、交通費、宿泊費、学会参加登録費等の費用を補助します。</p> | https://www.yssf.or.jp/yssfpdf/sch2026_guideline01.pdf | 学内締切:2026/4/22(水) | 窓口・郵送(必着) | 本学指定提出書類 | |
| 4 | 公益財団法人JPC奨学財団 | <p>(1) 2026年4月1日現在、関東地方の大学の理工系の学部又は研究科に所属する大学1年生及び大学院1年生(修士課程又は博士前期課程)であること (2) 日本国籍を有すること (3) 2026年4月1日現在の年齢が30歳以下であること (4) 学業、人物ともに優秀であり、健康であること ※ Only for the Japanese students.</p> | 学内選考 | 全国:16名程度 | 給付 | 月額40,000円 学部生は4年次修了時まで(最長で2030年3月までの4年間)、大学院生は2年次修了時まで(最長で2028年3月までの2年間) | https://www.netjpc.com/company/scholarship/summary.html | 学内締切:2026/5/22(金) | 窓口・郵送(必着) | 本学指定提出書類 | <p>(1) 他団体等から奨学金を受ける場合であっても応募は可能ですが、選考にあたっては他の奨学金の受給状況を考慮します。また、併給を希望する場合、奨学金支給団体によっては併給を認めない場合がありますので注意してください。 (2) 応募書類の受付後、記載内容の確認等のため、事務局より電話連絡をさせていただく場合があります。また、応募書類の返却はいたしませんので、ご了承ください。 (3) 面談(書類選考通過の大学1年生のみ実施、2026年7月初旬を予定)</p> |
| 3 | 公益財団法人上野教育文化財団 | <p>海技系大学、海技系大学校、水産大学校の新3年生(2026年4月現在)で次の各号のすべてに該当する者 (1) 船員教育機関や水産系学術機関に在学し、3級以上の海技士を目指す学生であること (2) 高い志をもち、学業が優れ、品行が正しく、かつ、健康である者 (3) 親権者(または未成年後見人等)の同意を得ている者 (4) 本人及び生計を一にする家族が、暴力団、暴力団関係企業、総会屋もしくはこれらに準ずる者またはその構成員ではないこと</p> | 学内選考 | 全国:15名程度 | 給付 | 月額20,000円を毎年6月及び10月に半年分ずつ振込給付(就学目的以外には使用できません) | https://www.uecf.or.jp/scholarship/guideance | 学内締切:2026/4/16(木) | 窓口・郵送(必着) | 本学指定提出書類 | |
| 2 | 公益財団法人 G-7奨学財団(G-7 FOUNDATION) | <p>■日本国内の大学又は大学院(ただし通信制大学及び夜間大学は除く)に1年間を通し在籍することが見込まれ、学業優秀かつ学修意欲があり、将来社会的に有益な活動を目指す者であって、学資の援助をすることが必要であると認められること。 ■日本国籍を有していること。 ■他の奨学金制度との併用・併願は可能です。(ただし、支給額を調整することがあります。) ■海外留学の場合は、留学期間中の単位が国内在籍大学の単位とみなされること。(休学し、海外留学を行う場合は要件をみたまないものとします。) ■学力基準:学部1年生 高校3年間評定値が4.0以上、学部2年生以上 直近1年間の標準GPA3.1以上 ■家計基準:財団HPをご参照ください ※ Only for the Japanese students.</p> | 学内選考 | 全国:110件程度予定 | 給付 | 年間上限120万円 | https://g-7foundation.or.jp/syougaku.html | R8年度新入生:2026/4/10(金) R8年度新入生以外:2026/4/3(金) | 窓口・郵送(必着) | 本学指定提出書類 | |

| | 財団名称 | 募集対象 | 応募方法 | 募集人数 | 貸与または給付 | 金額 | 応募用紙入手・リンク先 | 学内提出期限 | 提出方法 | 学内指定提出書類 | 注意点 |
|---|--|--|------|------|---------|-------------------------------------|--|---|-----------|--|-----|
| 1 | 公益財団法人 海技教育財団 (Marine Academy Foundation) | 2026年度入学準備金貸付制度 ・2026年4月に海洋工学部海事システム工学科または海洋電子機械工学科に入学が決定している者 ※ Only for the Japanese students. | 学内選考 | 7名 | 貸与 | 貸与額:10万円、20万円、30万円、40万円、50万円のいずれか選択 | https://www.kaiyodai.ac.jp/upload-file/1b93a481e469a78318d1817cc7cc8555aa4f05df.pdf  | 第1回:2026/2/16(月) 第2回:2026/3/9(月) 第3回:2026/3/30(月) | 窓口・郵送(必着) | 本学指定提出書類 海事システム工学科・海洋電子機械工学科のみ募集 https://macf.jp/scholarship-2/ 応募用紙 越中島地区学生支援係窓口で配布 | |